

本資料は 2019 年 3 月 1 日 (現地時間)、米国・ニューヨークならびにインド・ムンバイで発表されたプレスリリースの抄訳です。
発表内容の詳細は原文をご覧ください。

【原文 URL】 www.tcs.com/tcs-recognized-for-extensive-investments-empowerment-communities-across-globe-cecp

TCS が世界中で展開する、地域社会への投資やエンパワーメントの取り組みが、CECP に評価される

TCS CEO のラジェシュ・ゴピナタンを「CEO Force for Good」アワードに選出

ニューヨーク | ムンバイ、2019 年 3 月 1 日：タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、社員によるボランティア活動、地域に対する活動、STEM 教育、デジタル関連のリスキリング (Reskilling: 技能再教育) プログラムといった取り組みを世界中で行い、大きな影響を与えている点が評価され、ニューヨークで行われた、企業 CEO を中心とした社会価値推進ネットワーク Chief Executives for Corporate Purpose (CECP) の年次委員会のイベントで表彰を受けました。

CECP は世界の大企業 200 社の CEO を中心としたネットワークで、参画企業の売上合計は 6.6 兆ドル、社会的投資の総額は 212 億ドルにのびます。ニューヨークで開催された CECP の委員会イベント「Chief Executives Driving Corporate Purpose」において、TCS CEO (最高経営責任者) 兼 マネージングディレクターのラジェシュ・ゴピナタン (Rajesh Gopinathan) が、他の 4 人のグローバル企業 CEO とともに、「CEO Force for Good」アワードに選出されました。

ラジェシュ・ゴピナタンは、次のようにコメントしています。

「志を同じくする世界のビジネスリーダーから、『CEO Force for Good』の評価をいただいたことを誇りに思います。企業は、より公平で、多様性に富み、あらゆる人々が参加する社会を実現するために果たすべき大きな役割を担っています。そうした道のりにあらゆるステークホルダーを巻き込み、誰ひとりとして取り残されないようにすることは、企業としての倫理的責務であるだけでなく、TCS にとっての基本精神でもあります」

CECP CEO のダリル・ブルースター (Daryl Brewster) 氏は次のように述べています。

「世界トップ企業の CEO が参加する CECP は、『ビジネスを通じてより良い世界を創る』という CECP のミッションを具体的な形で実践する人々や企業の認定・表彰に努めています。社会が抱える課題は、個々の企業による単独の取り組みだけで解決できるものではありません。ゴピナタン氏のような企業トップ、そして TCS の活動が課題解決の牽引役となり、世の中に重要な変化をもたらしてくれることを期待しています」

第 4 次産業革命の時代に求められる仕事を視野に入れ、TCS は従業員のスキルアップ研修や技能再教育、学生向けの 21 世紀のキャリア教育、さらに、女性、少数民族、社会的弱者などのエンパワーメントにも注力しています。

TCS は、これまでに 292,000 人の従業員に新たなデジタルスキルの研修を実施するとともに、世界各地で 200 万人を超える人々に対して教育やスキルアップを目的とした地域活動を行っています。米国では、「Ignite My Future in School」プログラムを通じ、55 の学区において 5,050 人の教員および 30 万人の学生が学際的なアプローチを採用し、コンピューテーショナル思考*をカリキュラムに採り入れています。英国では、慈善事業と社会的企業、TCS の技術専門家が連携し、学校や大学で再教育の機会を提供する「IT Futures」プログラムを展開しており、その恩恵を受けた学生数は 30 万人にのびます。さらに、インドでは、これまで十分な教育サービスを受けられなかった地域で、デジタル・ディバイド (digital divide: 情報格差) の解消や初等教育の実施、成人の識字能力向上に向けた取り組みを支援しています。

以上

*Computational Thinking: 課題解決やシステム設計、人間行動の理解にコンピューターサイエンスの概念を援用する思考法

Chief Executives for Corporate Purpose (CECP) について

Chief Executives for Corporate Purpose (CECP) は、「企業の社会戦略 - 従業員、地域、出資者、顧客などの主要ステークホルダーとどのように関わらうか - が企業の成功を左右する」という考え方を共有する企業 CEO を中心としたネットワークです。1999 年、俳優でありフィランソピスト(慈善活動家)でもあった故ポール・ニューマン (Paul Newman) 氏やビジネスリーダーらが、ビジネスを通じてより良い世界を創ることを目的として設立。現在では世界 200 社以上の大企業が参画する活動に広がっており、参画企業全体の売上高は 6.6 兆ドル、社会的投資額は 212 億ドル、従業員数は 1,400 万人、運用資産額は 15 兆ドルにのびます。目的に沿ったネットワーキング、アドバイスおよびサポート、ベンチマーキングや動向の紹介、啓蒙、表彰などの活動を通じて、企業の社会戦略の変革を支援しています。

CECP の詳細については、<http://cecp.com> をご覧ください。

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズは、半世紀にわたり革新的かつ業界最高水準の IT サービス、コンサルティング、およびビジネスソリューションを世界中の大手企業に向けて提供し、その変革への道のりを支援しています。TCS はコンサルティングを基盤とし、コグニティブ技術を活用した BPS、エンジニアリング・サービスやソリューションを総合的に展開しています。これらを卓越したソフトウェア開発の基準として認識されている、TCS 独自のアジャイル・デリバリー・モデルを通じ、地理的制約にとらわれることなく提供しています。

TCS は世界最大規模の多国籍複合企業体であるタタグループに属し、最高水準のトレーニングを受けた 417,000 人を超える人材を擁し、世界 46 カ国で事業を展開しています。2018 年 3 月 31 日を末日とする会計年度の売上高は 190 億米ドルで、インドナショナル証券取引所とボンベイ証券取引所にも上場しています。また、気候変動に対する積極的な取り組みや表彰を受けた地域活動を世界中で展開しており、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスや MSCI グローバル・サステナビリティ・インデックス、FTS4E グッド・エマージング・インデックスをはじめ、主要なサステナビリティ指数の構成銘柄に名を連ねています。

TCS の詳細については、www.tcs.com をご覧ください。